

2008 年

10 月 9 日（木曜日） - 未来に輝き出した漁業 京都機船底曳網漁業連合会 -

本年 9 月、京都府機船底曳網漁業連合会の皆様が、ズワイガニとアカガレイの漁業で、アジア初となる MSC（海洋管理協議会※）の漁業管理認証を取得されたことを受け、本日、英国からこのために来日された MSC の最高責任者ルパート・ハウズ氏による本認証授与式が山田京都府知事はじめ多くの来賓の出席のもと盛大に行われました。

この MSC の漁業認証とは、「持続可能で適切に管理され、環境と資源に配慮して営まれる漁業」に対して世界的な認証を与えるもので、ロンドンに本部を置く国際的な NPO 法人である MSC（海洋管理協議会）により認証されているものです。京都府機船底曳網漁業連合会には 15 名の会員のうち京丹後市の間人・網野の会員が 6 名おられますが、今回、アジアで初めて認証を受けたことにより、京都府丹後・舞鶴のズワイガニとアカガレイの漁業が「海洋環境と海洋資源に配慮された世界で最も優れた漁法」として国際的に広く認知されますことは、地元の一部、京丹後市として心から喜ばしく思いますとともに、京丹後・舞鶴の底曳網漁業連合会の皆さんはじめ関係者の皆様の高い先見性と真摯なご努力、そして京都の豊かな海を愛してやまないお心に深く敬意を申し上げます。

京丹後・舞鶴の底曳網漁業者の皆さんは、昭和 55 年にはズワイガニの水揚げが 50 トンにまで落ち込むなどカニ、カレイなどの漁獲の減少が顕著になった状況を受け、これではいけないと、京都府のご指導を受けられながら、禁漁区域や禁漁期間の設定、保護区の設定、科学的成果を反映した改良魚網の導入などを自主的、積極的に推進されました。その結果、現在では、漁獲量も昨年にはズワイガニで 112 トンまで回復をみており、今回の認証は、環境と資源の管理のための諸措置とともに、常に改善を続ける熱意と真摯な姿勢が高く評価を受けたとお聞きしています。

そして今回の認証で特に素晴らしく思いますのは、底曳網漁業者の皆さんの取組みに国際的に最高級の評価が得られたこととともに、今回の認証により、持続可能な京都の漁業に対して漁業者のみならず流通業者や消費者の皆さんも選択流通・消費を通じ広く参加をしていくことができる、いわば「国民各層から参加可能な国際的な資源保護モデル」が確立されたことでもあります。「漁業者、流通業者、消費者が支え合って、海と魚を守り育てていく営みのモデル」、すなわち「地球環境と人との共生のための支え合いのモデル」ではないかと思います。

今、地球環境の時代を迎える中で、京丹後市では、豊かな自然環境を有する本市の特色を活かし、広く市民各層が参加・協働して、いわゆる資源循環型で、人と環境が共生を進める心豊かなまちづくりを各分野で推進しています。そんな中、国民各層が支えあ

って育む国際的な地球環境共生モデルが本市はじめ京都府海岸から広く国内外に発信されることはとても画期的に思いますし、その他様々な分野での環境保全・共生の取り組みにも好影響を与え発展を連ねていきますよう今後ますますリードしていただきたいと願っています。そしてもとより、この取組みを通じ、今後、志のある流通業者や消費者の皆さんとともに、京都府機船底曳網漁業連合会の皆さんによる持続可能で海にやさしい素晴らしい漁業が日本の漁業をリードし、ますます繁栄されますよう、そして京都の豊かな海が子々孫々までいよいよ永く豊かに引き継がれますよう、心から期待をしています。

※ 海洋管理協議会のルパート・ハウズ最高責任者は、「海洋管理協議会の使命は、世界の海洋環境を改善し、持続可能な世界的水産物市場の創造に貢献することです。世界の漁業が、私どもの、責任ある持続可能な漁業のための、科学に基づいた厳格な基準を満たしていくよう推進してまいります。」「私どもが今目指しているのは、主要ターゲット市場における MSC ブランドへの消費者の認識を高め、個々の漁業審査の質と一貫性を全体として向上させ続けることです。今後もその達成に努めてまいります。」と述べている。